



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

北朝鮮動向が緊迫して来ました。米トランプ大統領も強硬姿勢を崩さず、北東アジアには俄かに不確実性が高まって、世界の金融市場は楽観ムードから徐々にリスクオフ方向へと逡巡の様相を濃くし始めています。

こうした政治・地政学的リスクが高まると、条件反射的に円高方向へと為替が動いて、日本の株式市場は売り圧力が優勢になりがちです。一方で実体経済自体は、米国の安定基調が維持されて、雇用・消費・住宅市況、それに企業業績も堅調で、テーパリングと呼ばれる金融引き締め作業が間もなく始まるかとしています。

そして欧州でも景気回復局面入りが確かなものとなりつつあって、金融緩和政策の転換が見込まれる局面に入り、通貨ユーロは対ドル・円共に強含みに推移しています。さらに日本経済も力強さは感じられませんが、かれこれ5年にわたって景気回復基調は持続しており、名目GDPが20年ぶりに史上最大規模を更新して来ています。米欧日先進諸国が揃って経済上向き傾向で安定していることで、新興国経済も息を吹き返して、世界経済全体に久しぶりの一体的安定成長が実現していると言えます。

そうした経済環境がグローバルに株式市場を押し上げて来ていて、他方世界全体に物価上昇が鈍いことで、低金利傾向が継続している状況は、株式市場に程よい湯加減となって、暫し穏やかな市場動向が続いて来ているわけです。しかし北朝鮮挑発が次第に激しくなり、米トランプ政権の不安定感が増幅する中で、マーケットには米国の金融緩和修正への動きも含めて先行きへの警戒モードも芽生えていて、そろそろ相場の振れが大きくなり始めるのかもしれない。

私たち長期投資家にとって重要なのは、飽くまで経済活動の実体ベースであり、順調な地球経済の成長軌道にしっかり乗っておくことが何より大切です。相場の波動が大きくなっても、このスタンスを崩すことなく同じリズムを保つことが肝要で、市場環境の変化にも一喜一憂せず投資行動を続ける心構えを改めて確認してみてください。

「セゾン号」は注意深く、且つどっしり泰然とすすんでまいります。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

8月の市場動向

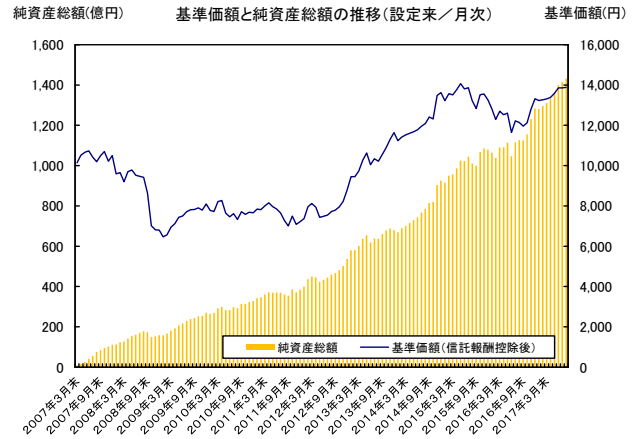
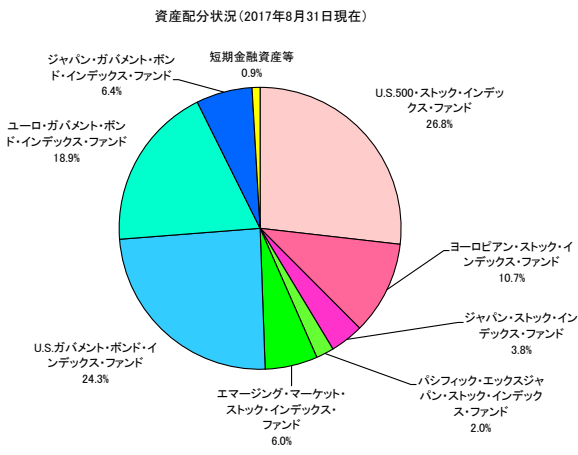
株式：【金融緩和の長期化観測に下支えされたものの、先行きに対する不透明感が広がったことを受けて力強さを欠く展開】
金融緩和環境が長期間継続するとの見方は維持されたものの、米国で政治的な不透明感が高まり、景気刺激策実現への期待が後退して明るい見方が後退したほか、北朝鮮情勢を巡る懸念が高まるなかでリスクを嗜好する動きが後退したことから力強さを欠く展開となりました。

債券：【金融緩和の長期化観測が維持されるなかで、先行きへの不透明感が広がり安全資産としての需要が高まって上昇】
物価の伸びが勢いを欠く状況が続く、米国やユーロ圏でも金融緩和環境が長期間継続するとの見方が維持されるなかで、米国で政治的な不透明感が高まったほか、北朝鮮情勢を巡る懸念が高まったことから、安全資産としての需要が高まり上昇しました。

為替：【ユーロが引き続きドルに対して上昇。円は堅調な展開となり、小幅ながら対ドルで円高、対ユーロで円安】
米国で政治的な不透明感が高まり景気刺激策実現への期待が後退したことを受けてドルが軟調な展開となり、景気の先行きに対する明るい見方の広がりを背景に金融緩和と縮小への警戒が根強いユーロが上昇しました。円はリスク選好が後退したことを背景に堅調に推移しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年8月31日現在）

| 基準価額 | 純資産総額 | 設定来騰落率 | 過去1ヶ月の騰落率 | 過去6ヶ月の騰落率 | 過去1年間の騰落率 |
|---------|----------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 13,885円 | 1431.7億円 | +38.85% | +0.17% | +4.67% | +14.37% |



8月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、株式ファンド及び債券ファンドへの投資を行いました。

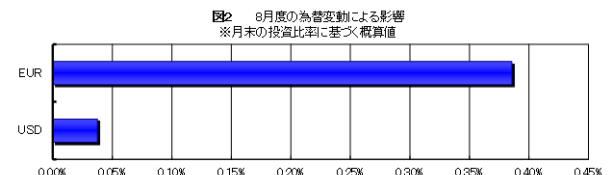
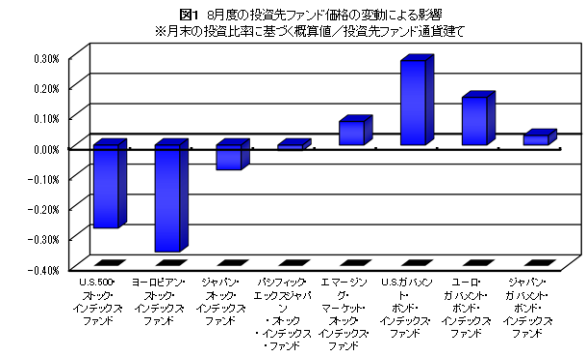
ファンドマネジャーからの一言

今月は、債券に投資するファンドが全て上昇したものの、株式に投資するファンドが新興国に投資するものを除いて下落し、基準価額の下落要因となりました。為替は当ファンドの評価時点で、対ドルでほぼ変わらず、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。
※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄



当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4968%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.68%±0.03%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：

監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：

・投資対象国、市況の変化、あるいは制度の変更等を考慮し、バンガードが定めることにより、購入時及び解約時にファンド財産維持手数料がかかることがあります。

・ファンド財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金（解約）した際に、ファンド自身に、直接支払われる留保金であり、販売手数料や解約手数料とは異なります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）